学校番号	T1208

令和２年度　　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館出版）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯にわたって健康を保持増進するため、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理を行えるようになろう。

・高校生の時期は心身の発達や健康課題について特に性的成熟に伴い、心理面・行動面が変化することを理解し、これらの行動に責任感や異性を尊重する力を身に付けよう。

・健康な結婚生活について学び、家族計画の意義・心得も理解しよう。

・人間の生活と産業活動が密接に関連していることを理解し、環境汚染を防止できるように個人で行動できることをできるようにしよう。

２ 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力をつける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート	レポート 定期考査	レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	生涯を通じる健康	性意識と性行動の選択	○	○		○	a:生涯にわたって健康を保持増進するための自己管理、医薬品の適正使用について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって健康を保持増進するための自己管理、医薬品の適正使用について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 d:生涯にわたって健康を保持増進するための自己管理、医薬品の適正使用について、言ったり書き出したりしている。	受講態度の観察 定期考査 レポート
		妊娠・出産と健康	○			○		
		家族計画と人工妊娠中絶	○	○		○		
		加齢と健康	○			○		
		医薬品と健康	○	○		○		
後期	社会生活と健康	大気汚染と健康	○	○		○	a:環境汚染の歴史、それらの防止及び改善の対策について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b:環境汚染の歴史、それらの帽子及び改善の対策について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 d::生涯にわたって健康を保持増進するための自己管理、医薬品の適正使用について、言ったり書き出したりしている。	受講態度の観察 定期考査 レポート
		水質・土壌汚染と健康	○	○		○		
		健康被害の防止と環境対策	○			○		
		環境衛生活動の仕組みと働き	○	○		○		

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断
c：運動の技能　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。